

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 4 | 運営推進会議の参加者についてですが、自治会に加入したうえで自治会長に参加してもらうなど地域に開かれた会議の場にして頂きたい。又、民生委員の方の参加があれば、いろいろな事で、相談が出来るので、参加してもらった方がよい。 | 今後、民生委員の運営推進会議への参加を依頼して幅広い視野での入居者の方、又は、施設にとって参考になる意見を頂けるようにしたい。 | 民生委員の方への参加依頼は、施設事務とグループホームとで調整していく | 3ヶ月 |
| 2 | 6 | 玄関など、どの扉にも施錠がされているが、外出の機会を奪い自由に行動が出来ない為、身体拘束にあたります。又、施錠をすることで、外部から遮断され、外部から来られた方も中に入りにくい環境になっている。 | 閉ざされた空間が及ぼす悪影響として心理的なストレスが考えられる。ストレスが増大し認知症状の悪化を招かないよう常にリラックスした状態で心身の安定を図り、日々穏やかに生活して頂けるようなケアの確立を目指す。また同時に安全性を重視し利用者、家族のニーズを考慮しながら外部から遮断されない閉鎖的な空間から解放していく。 | 時間を決めて日中の特養側のパブリックスペースの開放を行う。 玄関側の開放は道路整備が行われておらず出入り口付近にはすぐ階段があり、安全性を確保する取組みから実施し外部の方の入館が自由にできる環境を整えていきたい。 | 3ヶ月 |
| 3 | 35 | 防災についてですが、食糧の備蓄場所が施設内にあることですが、火災になれば建物内に備蓄品を取りに行くことが出来ない為、施設外の倉庫などに備蓄するようにしたほうがよい。 | 外部での保管は、現状では温度管理など難しい為、現状の保管場所とそれ以外にもう一か所保管できる場所を作る。 (2か所に保管場所を分ける事で、災害時に被害の分散を行う。) | 災害時の保管場所について、適切な場所を検討する。 | 3ヶ月 |
| 4 | 40 | こちらの施設では、厨房より食事を持ってこられていますが、何かを作る・盛りつけるなど入居者の方が残存機能を生かせる内容を取り入れた方が楽しさもあってよい。 | 残存機能を生かせる食事の提供方法を行っていく。 | グループホーム内で味噌汁を温める・おかずは、厨房で作られたのを職員が大皿に入れ替えて、入居者の方の前まで大皿を運び、入居者の方で器へ取り分けてもらう(分量は職員が確認)食事制限など療養食の方は、あらかじめ厨房より調整された食事を提供する。 | 3ヶ月 |
| 5 | | 職員が、入居者の方と共に食事をとられていない事で、共に食事を取っていただいた方が家庭的・家族的になる。 | 入所者の方と共にゆっくり過ごす。 | 喫茶や昼食の時に、お茶などを飲み同じ目線で落ち着いた関係作りを行う。 | 1ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。